

令和5年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立高等学校 定時制)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	名
事務局 (教職員)	名

学校自己評価					
領域	年度目標			年度評価 (令和 年 月 日 現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 新しい時代に即した川口市立高校定時制総合学科体制の推進に向け、教育プログラムを実施している。 教員減に伴う教職員の業務負担の増加が想定される。 ICT等を活用し生徒一人一人の学びを保障する体制づくりをしている。 	「キャリア教育・進路指導を核に進路実現を支援する総合学科を構築する」 ①定時制総合学科の良さを発揮するカリキュラム、指導体制を進めていく。 ②業務の効率化を図るとともに働き方改革を実施する。	①プロジェクトチームが策定したキャリア教育プログラムを全ての教員が確実に実施していく。 ②ペーパーレス化やICTを活用し業務の効率化を図る。		
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 不登校経験者や外国籍生徒が多く在籍している。生徒一人一人に即した学習を支援するとともに卒業後の進路に向けたキャリア教育を一層充実させる必要がある。 ICT等を活用し様々な変化に対応し学びの機会や質をより充実させる必要がある。 	「新教育課程の円滑な実施を進める」 ③4年間を見通したキャリア教育を充実させ、進路決定者100%を目指す指導体制を構築する。 ④一人一人の生徒に即した学習支援体制の一層の充実を図る。	③進路指導部を中心に進路行事を低学年から適切な時期に効果的に実施し、生徒の進路意識の醸成、自己理解の深化を図る。 ④不登校経験者の学び直し、外国籍生徒の日本語指導など、生徒一人一人に即した指導の充実策を実施する。		
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 芝西中学校陽春分校 (夜間中学) 中心に外部機関との連携を一層強化する必要がある。 川口市立高校定時制の魅力発信をより一層充実させ、入学志願者の増加策を推進する。 	「学校を核とした地域づくり」をめざす ⑤夜間中学等との具体的な連携を進める。 ⑥地域のニーズを把握するとともに様々な機会を活用し定時制の魅力を発信する。	⑤夜間中学との相互授業参観など、学習指導を中心に連携していく。 ⑥HPやSNSの活用、外部機関との連携を通し、定時制の魅力を発信していく。学校説明会・学校見学の実施方法について改善策を検討する。		
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 校内組織の中で研修をリードする組織の充実を図ることで組織的かつ計画的な研修システムを構築する必要がある。 定時制教職員数が少ないことから研修参加が難しい面がある。 	「授業第一主義」 ⑦校内研修を活性化させ教職員の授業力向上を図る。 ⑧校外研修へ積極的な参加を推奨する。	⑦教職員の相互授業参観による研修を実施する。全日制の研修と連動した研修を実施する。 ⑧オンライン研修等、積極的に研修に参加できる体制を構築する。		
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な学校づくりと施設の有効活用について全日制や附属中学校とスムーズな連携体制を構築する必要がある。 ICT活用の流れを後戻りさせないという意識の下、教育活動を適切に進めていく必要がある。 	「施設設備の効果的活用と安全配慮」 ⑨本校特有の課題に対して安心・安全を確保する。 ⑩GIGAスクール端末やネットワーク環境をはじめ、最新鋭の施設・設備を活かした教育活動を展開する。	⑨自転車事故防止の登校指導、不審者・防犯対策、校内の安全確保と安全点検を行う。 ⑩ICTの効果的活用に向けた教職員のリテラシー向上を図る。		

学校関係者評価	
※実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	